

特定非営利活動法人

建築設備コミッショニング協会

(Building Services Commissioning Association)

第 1 6 期通常総会資料

【1】法人の概要

【2】議事資料

第 1 号議案「第 16 期事業報告及び収支決算に関する事項」

第 2 号議案「第 17 期事業計画(案)及び予算(案)に関する事項」

第 3 号議案「役員の変更に関する事項」

【3】報告事項

日 時：2020 年 5 月 12 日（火）13:30～

場 所：大阪市住之江区南港北 2-1-10ATC/ITM 棟 会議室

（同時 Web 配信）



特定非営利活動法人
建築設備コミッショニング協会

【1】法人の概要

名称：特定非営利活動法人 建築設備コミッショニング協会
(Building Services Commissioning Association, BSCA)

設立日(設立総会) : 2004年3月19日
法人成立(内閣府) : 2004年8月9日
法人登記完了 : 2004年8月25日
名古屋事務所登記 : 2004年9月1日
事務所登記変更
従たる事務所設置
東京 : 2007年6月26日
京都 : 2007年6月26日
主たる事務所移転 : 2007年6月28日
従たる事務所移転
兵庫 : 2010年5月19日
主たる事務所移転 : 2013年5月15日
従たる事務所廃止 : 2013年5月15日
主たる事務所移転 : 2015年7月7日

役員

理事長 吉田治典
副理事長 赤司泰義、柳原隆司、山羽 基
理事 伊藤英明、大石晶彦、岡本利之、上谷勝洋、澤地孝男、田井公浩、高瀬知章、松下直幹
監事 高草 智、高橋直樹

会員数(2020年3月31日現在)

個人正会員 227名
賛助会員 40団体 (内 大学 6校)、特別会員6名

委員会組織

- ・企画・運営委員会：協会運営、普及啓発戦略立案、講演会・シンポジウムの企画、
広報活動、会員増強
- ・認証検討委員会及び資格判定委員会：認証制度検討、資格制度検討、資格研修会・講習会運営、
資格認定、資格登録
- ・事業委員会：研究調査、先導的コミッショニング事業受託、Cx費用ガイドライン検討
- ・技術委員会：技術支援、コミッショニングプロセス・ツール研究

賛助会員一覧 (2020年3月31日現在)

財団法人

建築技術教育普及センター、ヒートポンプ・蓄熱センター

企業

アズビル、エネゲート、エム・ティー・ディー、大阪ガス、大林組、関西電力、
関電エネルギーソリューション、九電工、きんでん、きんでんスピネット、三機工業、
三建設備工業、三晃空調、JR 東日本ビルテック、新菱冷熱工業、ソーワエンジニアリング、
ダイキン工業、大成建設、ダイダン、高砂熱学工業、中部電力、東京ガス、
東京電力エナジーパートナー、東京都市サービス、東邦ガス、日建設計総合研究所、日本設計、
日本ファシリティ・ソリューション、三菱地所設計、三菱重工サーマルシステムズ、森村設計
(五十音順)

大学

京都大学、東京大学、名古屋大学、中部大学、立命館大学、神戸大学(入会順)

官公庁

神奈川県立近代美術館

【2】議事資料

第1号議案「第16期事業報告及び収支決算に関する事項」

2019年度事業報告（2019年4月1日から2020年3月31日まで）

1. 事業の成果

人材育成事業として、毎年開催してきた性能検証技術者(CxPE)の資格研修会は、試験のあり方についての検討やCxマニュアルの訂正作業の必要性から昨年度は休止した。現在、CxPEの総計は97人であるが、ホームページに掲載しているCxPE個人の経歴情報を、統一化かつアップデートして公開情報として整備するため、その方法について議論を重ね実施に移すこととした。性能検証専門技術者(CxTE)の講習会の開催を東京・大阪以外の他都市へ展開した。昨年11月には仙台で、12月には名古屋で、岡山で本年1月に開催した。これらには、会員外の受講者も含めて合計43名（仙台15名、名古屋16名、岡山12名）が受講し、該当者にはCxTEの講習修了証を授与した。CxTEの技術者登録制度には、現在74名が登録されている。コミッショニングを業務として実施する組織(CxF: Commissioning Firm)の登録制度には現在8社の登録で一昨年以来同数である。

昨年9月には「国際シンポジウム ZEB時代の建築環境性能達成プロセスとは ～ コミッショニングを軸として～」を米国、カナダ、中国、香港、日本から講演者を招待して開催した。シンポジウムでは、各国の講演者が直接あるいは間接に関与した特色のあるコミッショニングの事例を中心に紹介し、Cxの必要性、あり方、将来性、課題などについて討議した。

性能検証普及事業として、広報活動である会員への情報伝達に関しては、例年通りコミッショニングレターを月1回発行した。また、昨年からコミッショニングレターをホームページのWeb版へ移行した。会員増強に関しては、当協会の基盤拡充と社会活動充実のため賛助会員の増加に努めた。昨年9月には例年通り空気調和・衛生工学会大会（北海道科学大学）の展示ブースへの出展を行い、当協会会員や関連学協会会員および一般市民を対象として、コミッショニングプロセスおよびコミッショニング技術の普及広報活動を実施した。この大会期間中にコミッショニングの集いを開催し、会員と会員外9名を含む参加者間でCxに関する情報交換を行い、普及促進に努めた。

調査研究・技術支援事業としては、継続して、空気調和・衛生工学会のコミッショニング委員会と連携しコミッショニング技術の整備に貢献した。

基準制定・検証事業として、Cx費用ガイドライン検討WGを立上げ、当協会としてコミッショニング事業のフィーに関するガイドラインを公表すべく活動を開始したが、この公表は独禁法に抵触する可能性があるとの指摘を受け、次年度に法令に抵触しない資料作成を検討して公表を目指すこととした。建築設備コミッショニングマニュアルの販売はCD5枚を販売した。検証事業を社会に定着させるための先導的なコミッショニング事業として、受託した京都駅ビルの熱源・空調システム改修工事の一連のコミッショニング業務は終結し報告書を提出した。なお本事業の成果は、発注者、設計者、施工者と連名で、2019年度の経済産業省・省エネ大賞、空気調和衛生工学会・リニューアブル賞、日本建築設備士協会・カーボンニュートラル賞の3賞を受賞し、本年2月には米国ASHRAE会議で日本の設備リニューアルにおけるコミッショニングの適用と題して成果を発表した。

共催・協賛事業では、昨年 7 月には空気調和・衛生工学会主催のシンポジウム「コミッションングのビジネス展開に向けて」に協賛をすると共に、特別講演として「コミッションングフィーのガイドライン」についての中間報告を行った。昨年 11 月には、(一社) 建築設備技術者協会の記念事業「建築設備士の日」において「京都駅ビル熱源・空調設備のカーボンニュートラル化改修工事」と題してコミッションングの意義について講演した。建築設備電力研究会主催の「京都駅ビル見学会」では先導的事業で取り組んだ京都駅ビルでの内容を説明した。地中熱利用促進協会主催の全国地中熱フォーラム 2019、一般社団法人関西 ESCO 協会主催の「中之島フェスティバルタワー見学会」は後援により、コミッションングの発展に寄与した。

事務局 WG では、引き続き事務局体制の整備を行い、事務処理を順次マニュアル化して事務作業の基盤整備と合理化を継続して進めた。東京と大阪で Web 会議を実施し、業務の合理化を進めた。

2. 事業実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業（非営利活動）

事業名	事業内容	実施月日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	
(1) 人材育成事業	セミナー開催等による性能検証に関する人材育成事業				会員、市民、建築関係者	
	シンポジウムや意見交換会・講演会を開催し、性能検証に関わる人材の育成と情報を提供するために下記を実施する。					
	a)	CxPE 資格研修会	—	—	—	—
	b)	CxTE 講習（仙台）	2019/11/15	TKP ガーデンシティ 仙台カンファレンス ルーム 21E	5 名	15 名
		CxTE 講習（名古屋）	2019/12/6	中部大学名古屋キャンパス 610 講義室	5 名	16 名
		CxTE 講習（岡山）	2020/1/22	NPD 貸会議室 岡山駅前 フロア A	7 名	12 名
	c)	認証検討委員会及び資格判定委員会活動	2019/4～2020/3	BSCA 事務所他	10 名	—
	d)	Cx 国際シンポジウム	2019/9/30	京都大学 百周年時計台記念館	16 名	99 名
	e)	Cx マニュアル（CD）の頒布	2019/4～2020/3	BSCA 事務所	2 名	4 名 1 団体
	f)	総会付帯講演会	2019/5/27	中央大学 駿河台記念館	10 名	40 名
g)	技術交流会	2019/5/27	中央大学 駿河台記念館	10 名	40 名	
h)	Cx に関心を持つ者の集い	2019/9/19	北海道札幌市	3 名	36 名	
(2) 性能検証普及事業	会誌・ホームページ等による性能検証普及事業				会員、市民、建築関係者、不特定	
	定期的に会誌やホームページによる広報を行い、最新情報を提供するため下記を実施する。					
	a)	ホームページの整備充実	2019/4～2020/3	事務局	4 名	約 1000 名
	b)	コミッションングレターの発行	2019/4～2020/3	事務局	7 名	約 170 名
	c)	空気調和・衛生工学会大会 ブース出展	2019/9/18～9/20	北海道科学大学	3 名	約 100 名
	d)	企画・運営委員会活動	2019/4～2020/3	BSCA 事務所他	24 名	—
e)	CxPE の活性化に向けた懇談会（ゼネコン、設計事務所など）	2019/4～2020/3	東京	2 名	10 名	

事業名	事業内容	実施月日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数		
(3) 調査研究・技術支援事業	性能検証に関する調査研究及び技術支援事業				会員、市民、建築関係者、不特定		
	実施マニュアルやツール等の整備を進め、同時に会員や一般市民への支援・広報を行う。 公共的機関より性能検証、コミショニング過程に関する調査・研究業務を受託し、人材育成と基準文書整備に活用する。						
	a)	海外調査・国際交流	2019/4～2020/3	BSCA 事務所他	1名	同上	
	b)	技術委員会活動	2019/4～2020/3	東京	5名	建築関係者	
(4) 基準制定・検証事業	性能検証基準の制定及び性能検証事業				会員、市民、建築関係者、不特定		
	マニュアル類の更なる向上と普及とを目指して、会員や一般市民等のための性能検証を実施する。						
	a)	建築設備性能検証マニュアル改定WG	2019/4～2020/3	東京	16名		
	b)	Cx 費用ガイドライン検討WG	2019/4～2020/3	東京	13名		
	c)	京都駅ビル熱源・空調改修工事新築 Cx 業務 (機能性能確認・適正化フェーズⅡ)	2017.12～2020.3	BSCA 事務所、京都駅ビル他	11名		
	d)	京都駅ビル二次側空調設備改修工事 新築 Cx 業務 (基本設計フェーズ)	2018.6～2019.11	BSCA 事務所、京都駅ビル他	7名		
	e)	京都駅ビル電気設備改修工事 新築 Cx 業務 (企画フェーズ)	2018.12～2019.8	BSCA 事務所、京都駅ビル他	6名		
	f)	東急電鉄・田園都市線三軒茶屋駅及び駒沢大学駅空調設備更新工事 Cx 業務 (調査及び基本設計フェーズ)	2018.8～2019.11	BSCA 事務所、東急電鉄他	6名		
g)	事業委員会活動	2019/4～2020/3	BSCA 事務所他	12名			
(5) 共催・協賛事業	他団体への共催、後援、協賛事業によりコミショニングの普及を目指す。				会員、市民、建築関係者、不特定		
	a)	空気調和・衛生工学会 Cx 事例シンポジウム (東京) 【協賛】	2019/7/3			工学院大学・アーバンティックホール	16名
	b)	地中熱利用促進協会 全国地中熱フォーラム 2019 ～持続的社會と地中熱最新動向～ 【後援】	2019/11/11～11/12			きゅりあん (品川区立総合区民会館)	—
	c)	「建築設備士の日」記念事業 報告	2019/11/18			芝浦工業大学	—
	d)	建築設備電力研究会 京都駅ビル見学会	2019/11/26			建築設備電力研究会	—
	e)	一般社団法人関西 ESCO 協会主催 中之島フィステバルタワー見学会 【後援】	2020/2/19			中之島フィステバルタワー	—
f)	日本建築設備診断機構 (JAFIA) 第 11 回シンポジウム 【後援】	2020/2/26 (中止)	東京ガス 本社 2 階 大会議室	—			

3. 事業の概要

(1) 人材育成事業

a) CxPE（性能検証技術者）資格研修会

2009年より開始しているCxPEの資格認証を、2017年度から資格試験制度・登録制度に改めている。2019年度は研修会実施内容の懸案事項の解決に専念することとし、資格研修会の実施を見送った。

b) CxTE（性能検証専門技術者）講習（仙台・名古屋・岡山）

これまで関西と東京で開催していたCxTE（性能検証専門技術者）講習会を、第8回目となる2019年度は11月に仙台（受講者15名）、12月に名古屋（受講者16名）20年1月に岡山（受講者12名）と、初めて他都市で開催した。合計43名にCxTE講習の修了証を授与し、2019年度に新たにCxTE登録された会員は4名、累計で74名となった。

c) 認証検討委員会及び資格判定委員会活動

1) 認証検討委員会

認証検討委員会における検討事案が無かった為、活動は行っていない。

2) 資格判定委員会

前述のとおり、資格研修小委員会は研修会実施内容の懸案事項解決を行い、新規のCxPEについては判定を行っていない。

d) Cx国際シンポジウム“ZEB時代の建築環境性能達成プロセスとは”の開催

京都大学キャンパス百周年時計台記念館にて「ZEB時代の建築環境性能達成プロセスとは」という国際シンポジウムを2019年9月30日に開催した。参加人数は99名。このシンポジウムでは、実際にコミッションングを実施している専門家を海外・国内から招待して、高い性能が要求される建築物について、どのようにその性能を達成したか（どのように発注者の要求を具体化し、コミッションング計画を立案して、機能性能試験を実施したか）を解説してもらい、要求された性能を確実に達成するための建築環境設計・施工プロセスの在り方について議論を行った。

各セッション後に行われるディスカッションでは、各国におけるCx事情も含めて活発な意見交換が行われた。Cxを実施する際に生産性や快適性のバランスをどう両立させるか、Cxの必要性についてオーナーにどのような説明をおこなっているか、エンジニアの人材育成についてなど、各国のCx事例や歴史にまで踏み込んだ活発な議論がなされた。

e) Cxマニュアル（CD）の頒布

新マニュアルは改訂後合計で93部、今年度はCDを5部頒布した。

f) 総会付帯行事を兼ねた講演会（東京）

中央大学駿河台記念館において、通常総会を開催するとともに講演会を実施した。参加者54名。講演では、早稲田大学 スマート社会技術融合研究機構研究院教授・石井英雄氏による「DR・VPPの取り組みと課題」、日本設計 常務執行役員環境技術担当・柳井崇氏による「環境建築・実現に向けての課題と設備技術者の役割」の2題をご講演頂いた。なお講演資料は、会員のみで公開とし、当協会ホームページに掲載した。

g) 技術交流会

総会に引き続き、賛助会員会を兼ねた「技術交流会」を開催した。参加者 36 名。来賓である一般社団法人公共建築協会常務理事による乾杯、新任理事の挨拶、新 CxPE の代表者の抱負表明等が行なわれ、会員間でコミショニングに関する情報交流がなされた。

h) Cx に関心を持つ者の集い

空気調和・衛生工学会大会の二日目（9 月 19 日）夕方、恒例の「コミショニングに関心を持つ者の集い」を札幌駅前の「こふじ」にて開催した。18 回を迎える今回は、大学関係者 4 名、学生 6 名、企業関係者 26 名、合計 36 名が参加され、コミショニングの昨今の状況や将来について語られ、情報交換がなされた。

(2) 性能検証普及事業(企画・運営委員会)

a) ホームページの整備充実

ホームページの整備拡充として、一般閲覧者に向けた情報発信を目指したコンテンツの拡充やコミショニングレターの Web 化に伴う仕組みを強化した。

b) コミショニングレターの発行

コミショニングレターは、主に会員に対する積極的な情報提供を目的として月 1 回の発行を継続し、昨年度も 12 回の発行を行った。今年度の下半期より配信方法を PDF 版から Web 版に変更し、コミショニングに関わる有益な情報を会員に提供した。当協会主催の研修会等の事業担当者から、会告としてレターに掲載するとともに、その報告を行った。また、国際シンポジウム「ZEB 時代の建築環境性能達成プロセスとは」や、建築設備技術者協会の記念事業「建築設備士の日」の講演といったコミショニングにかかわる諸情報を会員に提供した。

c) 空気調和・衛生工学会大会ブース出展

2019 年 9 月の空気調和・衛生工学会北海道大会における技術展示会場にブースを設け、例年どおり、当協会の概要・活動の紹介を最新情報に更新したタペストリーを展示して紹介した。このタペストリーは、CxTE 講習会などでも掲示に活用した。

d) 企画・運営委員会活動

委員会を年 5 回開催し、下記活動の実施内容について審議してそれぞれの活動に繋げた。

1) 広報活動

1-1) HP 広報WG

協会のホームページ制作会社との年間保守契約を継続し、ホームページの維持管理を行った。また、CxPE 資格者情報登録の Web システムを構築した。

1-2) レター広報WG

コミショニングレターの公開範囲と公開場所について審議を行い、会員外にも広く情報提供出来るようにパスワードは外し、ホームページのトップページに掲載することとした。

2) 会員獲得活動

個人会員数の増強に努めた。新規入会者 9 名を含めて会員数は 227 名となった。また、各種団体にコミッショニングの意義を理解して頂くよう賛助会員の獲得に努め、周知活動を行った。

3) コミッショニング事業者 (CxF) 登録制度の運用

CxF の登録制度を継続して運用した。

4) 講習会・セミナー事業

前掲 (1) 人材育成事業 d)Cx 国際シンポジウムと後掲 (5) 共催・協賛事業を参照。

e) コミッショニングの有用性に関する解説活動

昨年 5 月に米陸軍工兵隊・日本地区本部 (キャンプ座間) を訪問し、日本の米軍施設での Cx 業務の内容、CxPE 資格での Cx 業務の可能性について協議した。CxPE 資格は米国資格に準ずるものとして既に入札仕様書の入札条件に記載しているが、まだ実績が無いとのことだった。その他 Cx の対象範囲や運用 Cx など、活発な意見交換を行った。

(3) 調査研究・技術支援事業

a) 海外調査・国際交流

10 月に開催される全米コミッショニング協会 (シカゴ) に参加するため、海外居住の会員に資金援助をし、海外の情報把握と国際交流を図った。2020 年 2 月には、米国 ASHRAE 会議で日本の設備リニューアルにおけるコミッショニングの適用と題して成果を発表した。

b) 技術委員会

空気調和・衛生工学会のコミッショニング委員会と情報共有して、Cx 技術の普及展開を協働した。

(4) 基準制定・検証事業

a) 建築設備性能検証マニュアル改訂 WG

現マニュアルの不備な部分の修正を行ってマニュアルの完成度を高めることを目的として活動を行った。具体的には、表現や文言の修正だけではなく、内容の矛盾や齟齬などがあれば修正を行う方針とし、各章の担当者とスケジュール案をまとめた。なお、Cx の実用性をより高めることの内容については、継続的に検討することとした。

なお、WG 名称は活用内容に伴いマニュアル校正WG からマニュアル改訂WG に変更した。

b) Cx 費用ガイドライン検討 WG

ガイドライン案を作成し、案に対する協会内外の意見をパブリックコメントとシンポジウムの場で得た。しかし、協会が Cx 費用のガイドラインを公開することは独占禁止法に抵触する恐れがあるとの指摘を受けたため、WG で対応を協議した結果、ガイドラインの公開は見送ることとした。人工数に関する推定調査を行い、統計的な処理を行った情報の開示であれば独占禁止法に抵触しないようであるため、今後は推定調査の実施をもとに資料を整備し公開を目指すよう検討することとした。WG 自体は本年で終了とする。

c) 京都駅ビル熱源・空調改修工事新築 Cx 業務（機能性能確認・適正化フェーズⅡ）

- ・ 委託機関：京都駅ビル開発(株)
- ・ 事業実施：2017年12月～2020年3月
- ・ 担当者：吉田治典（CA）、松下直幹（幹事）、柳原隆司、赤司泰義、下田吉之、杉浦修史、岡敦郎、山本雄二、矢部克明、中森彰、西山満

「機能性能確認・適正化フェーズ」に引き続き、2017年12月から2019年3月までの2年4か月間、「機能性能確認・適正化フェーズⅡ」を行った。本フェーズは、機能性能確認・適正化フェーズⅠで残された課題を解決するとともに、より高度に適正化し、OPRの目標値を超える削減を目指して活動を行った。その結果、竣工後1年目56.4%、2年目58.6%に対して、3年目である昨年度は59.9%と2年目からは1.3%、1年目からは3.5%削減率を向上（1年目比で8%の削減率向上）させることができ、竣工後のコミッショニングの実施が重要であることが示せた。また、本プロジェクトは昨年、以下の3つの賞を受賞しコミッショニングの重要性を社会に広めることができた。

- ・ 省エネ大賞（省エネ事例部門支援・サービス分野）経済産業大臣賞
- ・ 空気調和・衛生工学会 特別賞 リニューアル賞
- ・ 建築設備技術者協会 カーボンニュートラル大賞

d) 京都駅ビル二次側空調設備改修工事 新築 Cx 業務（基本設計フェーズ）

- ・ 委託機関：京都駅ビル開発(株)
- ・ 事業実施：2018年6月～2019年11月
- ・ 担当者：吉田治典（CA）、松下直幹（幹事）、柳原隆司、岡敦郎、山本雄二、矢部克明、西山満

京都駅ビルの熱源設備改修工事のコミッショニングプロジェクトに続き、二次側空調設備更新工事（2022年竣工予定）の基本設計フェーズのコミッショニングを一昨年度（2018年）に受託し、昨年2019年11月に完了した。二次側空調改修の基本設計には、熱源改修工事の設計に織り込み済みの、ホテル・文化系統に残された蒸気システムの温水化、冷水温度差を $\Delta T=6^{\circ}\text{C}$ から $\Delta T=10^{\circ}\text{C}$ とする大温度差空調システムの導入、様々な課題を抱えている全テナントの空調機の全面更新などを基本設計に盛り込んだ。

e) 京都駅ビル電気設備改修工事 新築 Cx 業務（企画フェーズ）

- ・ 委託機関：京都駅ビル開発(株)
- ・ 事業実施：2018年12月～2019年9月
- ・ 担当者：吉田治典（CA）、糸賀良悦（幹事）、柳原隆司、藤岡茂、多山洋文、上野圭介

本プロジェクトは電気設備の更新を、既往の老朽設備の取り替えという通常の更新方法ではなく、将来をみた新しい電気設備のあり方を模索したい、かつ地下にある電気設備の水没を回避するための大々的な電気室の移転も必要となるため、コミッショニング過程を適用して斬新な改修を行いたいというオーナーの要求に応える企画フェーズのコミッショニング業務である。電気設備のコミッショニングは日本で初めてと思われ、技術面でのコミッショニングマニュアルもなく、調査や試行が必要な業務であった。

**f) 東急電鉄・田園都市線三軒茶屋駅及び駒沢大学駅空調設備更新工事 Cx 業務
(調査及び基本設計フェーズ)**

- ・ 委託機関：東急電鉄（株）
- ・ 事業実施：2018年8月～2019年11月
- ・ 担当者：吉田治典（CA）、松下直幹（幹事）、柳原隆司、山本雄二、西山満、高草智

東急電鉄・地下駅施設の空調設備は、40年程以前の竣工以来、省エネの観点での適切な検討も運転状況を把握するデータの収集もなされてこなかった。今回、システムの抜本的な見直しをして改修設計・施工を行いたいという発注者の意向を受けて調査・基本設計フェーズのコミッションング業務を受託した。比較的小規模かつ単純な駅空調であるが省エネ・環境面の課題が多くあることが判った。今後、駒沢大学駅空調設備更新工事の実設計フェーズの Cx が予定されるとともに、本成果を他駅の改修時に水平展開することが期待されている。

g) 事業委員会

新規の先導的コミッションング事業対応のための事前打合せ、調査を実施した。

(5) 共催・協賛事業

a) 空気調和・衛生工学会

Cx 事例シンポジウム（東京） ～コミッションングのビジネス展開に向けて～ [協賛]

2019年7月3日に工学院大学・アーバンテックホールで、89名の参加者を得た空気調和・衛生工学会主催のシンポジウム「コミッションングのビジネス展開に向けて」を協賛により開催した。本シンポジウムでは、個別分散空調システムや ZEB を成立させる各種サブシステムの機能性能試験仕様書の整備、データ処理ツールの開発、コミッションングの導入効果に関する調査結果など、コミッションング委員会の2017年4月からの研究活動の成果の概要が発表され、参加者と活発な意見交換がなされた。また、研究成果の発表の他に二つの特別公演があり、一つは経済産業省・資源エネルギー庁・吉田健一郎氏による「省エネルギーの現状と課題」という題目のコミッションングと関連付けたテーマで、もう一つは、当協会が発刊に向けて準備を進めていたコミッションングフィーのガイドラインについて、WG 主査から発表があった。

b) 地中熱利用促進協会

全国地中熱フォーラム 2019 ～持続的社會と地中熱最新動向～ [後援]

2019年11月11日にNPO法人地中熱利用促進協会によるフォーラムが大井町「きゅりあん」にて開催された。フォーラムでは、SDGs と地中熱についてのパネル討論、地中熱技術の最新動向、自治体の政策や公共施設への地中熱の導入事例などが紹介された。

c) 建築設備技術者協会

「建築設備士の日」記念事業 報告

2019年11月18日に「建築設備士の日」記念行事および建築設備六団体協議会による記念祝賀会が芝浦工業大学（豊洲）において開催された。記念行事では、カーボンニュートラル大賞を受賞した「京都駅ビル熱源・空調設備のカーボンニュートラル化改修工事」について、当協会の吉田理事長がコミッションングの普及という観点で講演をした。

d) 建築設備電力研究会

京都駅ビル見学会

2019年11月26日に参加人数23名で京都駅ビルの見学会が開催された。京都駅ビル熱源・空調設備省エネ改修におけるコミッショニングの取り組みについて、オーナー側(京都駅ビル開発殿)から「なぜコミッショニングを導入したか」、「コミッショニングがプロジェクトにもたらしたメリット」などについて説明がなされた。また、CMT側である当協会からは、コミッショニングプロジェクトの概要や各フェーズにおける具体的な実施事項を説明した。

e) 一般社団法人関西ESCO協会

中之島フィステバルタワー見学会 [後援]

2020年2月19日に開催し、参加人数23名で中之島フェスティバルタワーの見学会が開催された。会議室、オフィス、ホールの見学がなされ、主な省エネ技術としてエコボイド、エアフローウィンドウ、河川水利用空調システム、全館LED照明などが、管理者である朝日ビルディングから紹介された。

f) 日本建築設備診断機構

第11回JAFIA シンポジウム～建築設備のコミッショニング、IoT・ICT・AIの活用～ [後援]

後援を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止を鑑みて開催が中止されることとなった。

(6) 理事会

理事会を4回開催し、総会付議事項、フェロー規程、日本サステイナブル建築協会への理事派遣、ASHRAE 冬季大会での講演依頼、Annex81 日本委員会への参加、外注比率が多い場合の経費率について、新規のプロジェクト契約等を審議し決定した。

4. 会計収支決算

様式例・記載例（法第28条第1項「前事業年度の計算書類（活動計算書）」）

2019年度決算報告

建築設備コミッションング協会

2019年4月1日から2020年3月31日まで

（単位：円）

科目	2019年度決算	2019年度予算		備考欄
	特定非営利活動	特定非営利活動事業	増減額	
I 経常収益				
1 受取会費				
入会金収入	45,000	100,000	-55,000	
正会員受取会費	2,185,000	2,150,000	35,000	
賛助会員受取会費	5,800,000	6,000,000	-200,000	
小計	8,030,000	8,250,000	-220,000	
2 受取寄附金				
受取寄附金	0	0	0	
小計	0	0	0	
3 受取助成金等				
受取民間助成金	0	0	0	
小計	0	0	0	
4 事業収益				
1. 人材育成事業		0		
CxPE研修会	0	0	0	
CxTE講習会(仙台)	264,000	365,000	-101,000	
CxTE講習会(名古屋)	242,000	364,000	-122,000	
CxTE講習会(岡山)	252,000	377,000	-125,000	
Cx事例シンポジウム(東京)	0	380,000	-380,000	
国際Cxシンポジウム(京都)	2,535,000	2,055,000	480,000	
Cx事例シンポジウム(中部)	0	120,000	-120,000	
マニュアルの頒布	64,760	200,000	-135,240	
技術交流会	90,000	150,000	-60,000	
Cx 集い	178,200	200,000	-21,800	
小計	3,625,960	4,211,000	-585,040	
2. 普及事業	0	0	0	
小計	0	0	0	
3. 研究・支援事業				
技術委員会	0	65,000	-65,000	
小計	0	65,000	-65,000	
4. 基準制定事業				
京都駅ビルCx				
機能性能フェーズⅡ	12,185,640	11,283,000	902,640	
空調二次側基本設計	3,427,920	3,174,000	253,920	
百貨店冷凍冷蔵ショーケース調査	2,336,428	0	2,336,428	
百貨店冷凍冷蔵WT調査	510,300	0	510,300	
百貨店ATU冷温水調査	567,567	0	567,567	
電気設備改修企画フェーズ	3,900,420	7,223,000	-3,322,580	
低圧トランス側需要率調査	1,719,792	0	1,719,792	
東急電鉄Cx	5,789,200	4,990,000	0	
小計	30,437,267	26,670,000	2,968,067	
5. その他				
小計	0	0	0	
計	34,063,227	30,946,000	3,117,227	
5 その他収益				
受取利息	367	1,000	-633	
雑収益	0	10,000	-10,000	
小計	367	11,000	-10,633	
経常収益計	42,093,594	39,207,000	2,087,394	

科目	2019年度予算執行	2019年度予算		備考欄
	特定非営利活動	特定非営利活動事業	増減額	
II 経常費用				
1 事業費				
1. 人材育成事業				
CxPE研修会	675,000	1,200,000	-525,000	
CxTE講習会(仙台)	330,764	275,000	55,764	
CxTE講習会(名古屋)	157,538	264,000	-106,462	
CxTE講習会(岡山)	237,100	295,000	-57,900	
Cx事例シンポジウム(東京)	0	295,000	-295,000	
国際Cxシンポジウム(京都)	2,541,404	2,015,000	526,404	
Cx事例シンポジウム(中部)	0	76,000	-76,000	
マニュアルの頒布	2,469	30,000	-27,531	
総会付帯講演会	113,844	60,000	53,844	
技術交流会	193,752	230,000	-36,248	
Cx 集い	194,400	200,000	-5,600	
認証判定委員会	0	0	0	
小計	4,446,271	4,940,000	-493,729	
2. 普及事業				
ホームページ	169,377	1,300,000	-1,130,623	
コミショニングレターの発行	135,037	200,000	-64,963	
空気調和・衛生工学会大会ブース出展	155,582	180,000	-24,418	
CxF登録制度小委員会	0	100,000	-100,000	
企画・運営委員会及び広報担当	256,654	360,000	-103,346	
小計	716,650	2,140,000	-1,423,350	
3. 研究・支援事業				
海外調査	2,230,676	1,905,000	325,676	
技術委員会	0	400,000	-400,000	
小計	2,230,676	2,305,000	-74,324	
4. 基準制定事業				
京都駅ビルCx				
機能性能フェーズII	10,909,957	9,591,000	1,318,957	
空調二次側基本設計	5,896,608	2,698,000	3,198,608	
百貨店冷凍冷蔵ショーケース調査	2,127,683	0	2,127,683	
百貨店冷凍冷蔵WT調査	486,432	0	486,432	
百貨店ATU冷温水調査	500,500	0	500,500	
電気設備改修企画フェーズ	4,247,549	6,140,000	-1,892,451	
低圧トランス側需要率調査	1,391,040	0	1,391,040	
東急電鉄Cx事業	5,312,470	4,120,115	1,192,355	
OCAT熱源改修Cx事業	17,905	0	17,905	
事業委員会	0	50,000	-50,000	
Cx費用ガイドライン検討WG	490,592	1,000,000	-509,408	
マニュアル校正	0	800,000	-800,000	
小計	31,380,736	24,399,115	6,981,621	
5. その他	0	100,000	-100,000	
事業費計	38,774,333	33,884,115	4,890,218	

科目	2019年度予算執行	2019年度予算		備考欄
	特定非営利活動	特定非営利活動事業	増減額	
2 管理費				
旅費交通費	414,430	500,000	-85,570	
通信運搬費	269,920	200,000	69,920	
消耗品費	173,408	260,000	-86,592	
什器備品	628,163	200,000	428,163	Web会議関係備品他
会議費	395,472	254,500	140,972	Web会議会場費
印刷製本費	111,169	100,000	11,169	
租税公課	1,130,900	440,000	690,900	消費税納付
支払手数料	64,210	70,000	-5,790	
雑給	0	5,000	-5,000	
諸会費	101,375	200,000	-98,625	
家賃	399,530	400,000	-470	
修繕費	0	0	0	
予備費	0	0	0	
支払報酬	390,800	420,000	-29,200	
事務外注費	4,228,372	3,888,000	340,372	プロジェクト事務局経費
事務管理費	260,800	300,000	-39,200	
減価償却費	317,168	505,000	-187,832	
管理費計	8,885,717	7,742,500	1,143,217	
経常費用計	47,660,050	41,626,615	6,033,435	
I, II 当期経常増減額	-5,566,456	-2,419,615	-3,146,841	
III 経常外収益				
1 固定資産売却益	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	
IV 経常外費用				
1 過年度損益修正損	0	0	0	
2 固定資産除却損	1	0	1	
経常外費用計	1	0	1	
III, IV 当期経常外増減額	1	0	1	
税引前当期正味財産増減額	-5,566,457	-2,419,615	-3,146,842	
法人税、住民税及び事業税	406,100	351,000	55,100	
当期正味財産増減額	-5,972,557	-2,770,615	-3,201,942	
前期繰越正味財産額	56,928,633	56,928,633	0	
次期繰越正味財産額	50,956,076	54,158,018	-3,201,942	

重要な会計重要な方針

(1) 固定資産の減価償却方法

有形固定資産の減価償却方法：定率法によっております。

無形固定資産の減価償却方法：定額法によっております。

(2) 消費税等の処理方法

税込経理によっております。

2019年度 貸借対照表

建築設備コミッションング協会

2020年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額		備考
I 資産の部			
1 流動資産			
現金及び預金	37,808,491		
売掛金／未収金	12,763,207		
棚卸資産	0		
貯蔵品	0		
前払費用	75,000		
仮払金	0		
流動資産合計		50,646,698	
2 固定資産			
(1) 有形固定資産			
什器備品	200,880		
減価償却累計額	-200,880		
有形固定資産計		0	
(2) 無形固定資産			
ソフトウェア等	767,984		
無形固定資産計		767,984	
(3) 投資その他の資産			
敷金	0		
保証金	180,000		
投資その他の資産計		180,000	
固定資産合計		947,984	
資産合計			51,594,682
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	420,557		
前受会費	30,000		
預り金	188,049		
仮受金	0		
流動負債合計		638,606	
2 固定負債			
	0		
固定負債合計		0	
負債合計			638,606
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		45,189,432	
税引後当期正味財産増減額		5,766,644	
正味財産合計			50,956,076
負債及び正味財産合計			51,594,682

2019年度 財産目録

建築設備コミッションング協会

2020年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額		備 考
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手元現金	0		
三菱UFJ銀行普通預金	1,683		
三菱UFJ銀行普通預金	6,519,081		
ゆうちょ銀行普通預金	1,021,532		
三井住友銀行	530,952		
池田泉州銀行	29,735,243		
現預金計	37,808,491		
未収金			
売掛金/未収金	12,763,207		
貯蔵品	0		
棚卸資産			
未収金計	12,763,207		
前払費用	75,000		
前払費用計	75,000		
仮払金	0		
仮払金計	0		
流動資産合計		50,646,698	
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
什器備品	0		
有形固定資産計	0		
(2) 無形固定資産			
ソフトウェアなど	767,984		
無形固定資産計	767,984		MATLAB
(3) 投資その他の資産			
敷金	0		
保証金	180,000		ATC保証金
投資その他の資産計	180,000		
固定資産合計		947,984	
資産合計			51,594,682
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	420,557		
前受会費	30,000		
預り金			
源泉所得税預り金	188,049		
仮受金	0		
流動負債合計		638,606	
2. 固定負債			
	0		
固定負債合計		0	
負債合計			638,606
正味財産			50,956,076

5. 監査報告

2019年度の特定非営利活動法人 建築設備コミッショニング協会の事業報告、活動予算書及び財産目録等について、関係書類と共にその内容を監査した結果、法令及び定款に照らして、適正であることを認めます。

2020年4月15日

監 事

高草 智

高橋 直樹

第2号議案「第17期事業計画(案)及び 予算(案)に関する事項」

2020年度事業計画案(2020年4月1日から2021年3月31日まで)

1. 事業実施の方針

2020年度は下記の活動を計画し、会員と社会に対してコミッショニングの意義を更に広め、かつ賛助会員組織に対してはコミッショニング事業を推進するための情報提供をすることで、社会に貢献する。

人材育成事業については、CxPE(性能検証技術者)資格研修会は2019年度の開催を見送ったが、2020年度については大阪での開催を検討することとする。CxTE(性能検証専門技術者)講習会は例年通り東京・大阪で開催するが、既存CxTE資格者の技術力の育成を目的に、実務に直接つながる講習内容を新たに検討する。アジア太平洋地域における各国・各地域のCx技術とCx展開について情報を共有し、Cxの推進と普及を通じて社会に貢献することを目的に、11月に「アジア太平洋Cx国際シンポジウム(東京)」を実施する。また、関西では種々のコミッショニング事例の発表シンポジウム、中部ではCx研究会を、それぞれ開催する。

性能検証普及事業については、当協会のホームページ構成を見直すと共に、一般閲覧者と会員との情報提供範囲を区分し会員メリットが判りやすい仕組みを構築し、Web版レターの構成方法の変更も行う。コミッショニング業務の展開を目指す会員に対し会員限定の情報提供(Cx文書事例、Cxツールなど)を検討する。コミッショニングの推進にはCxFが重要であることを理解して貫うとともに、CxF登録者を増やす活動を行う。公共部門や民間の建築オーナーに対して、省エネルギー・省CO2にはコミッショニングプロセスが有効であることを説明し、コミッショニングのプロセスや技術に関するアドバイスを積極的に行う。コミッショニングに関する調査・研究事業の受託を目指し、国によるコミッショニングの政策課題に関連する調査に協力、コミッショニング業務のあり方・技術者の活用方法・技術者への報酬のあり方などについて、引き続き検討する。

調査研究及び技術支援事業については、海外調査・国際交流として、国際エネルギー機関(IEA)の研究活動、IEA/EBC Annex81「Data-Driven Smart Building(データ駆動型スマートビルディング)」の日本委員会(委員長:東京大学・赤司泰義教授、当協会副理事長)に当協会から委員を派遣して参画し、適宜、情報を会員にもフィードバックする。技術委員会活動としては、例年通り、空気調和・衛生工学会のコミッショニング委員会と協調・連携してコミッショニングの普及展開に必要な技術課題に取り組み、その成果をリソースとして整備し公開していく。新たにCxに関する日中共同研究について中国のカウンターパートと議論し企画立案を進める。

基準の制定及び検証事業については、2016年度に発行した「建築設備コミッショニングマニュアル」の改訂を実施し、一般流通図書としての冊子販売を検討する。当協会特命による先導的コミッショニング業務の受託、並びに調査研究委託業務を引き続き実施し、それらの活動成果やノウハウをコミッショニングに関わる人材育成や実務資料の集積に反映し知的資産とする。この先導的コミッショニング受託業務にCxPEやCxTEの参画を募ることで人材育成支援を行い、当協会における先導的コミッショニング事業の受託方法を整備する。

昨年度と同様、理事会を活性化するため各理事の担当業務を明確にし、事業計画を理事が中心になり推進し、企画・運営委員会を通して実施するようガバナンス体制をより強固にする。

2. 事業実施計画に関する事項

特定非営利活動に係る事業（非営利活動）

事業名	事業内容	実施月日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	
(1) 人材育成事業	セミナー開催等による性能検証に関する人材育成事業				会員、市民、建築関係者	
	シンポジウムや意見交換会・講演会を開催し、性能検証に関わる人材の育成と情報を提供するために下記を実施する。					
	a)	CxPE 資格研修会	2020/12	大阪	10名	10名
	b)	CxTE 講習（東京）	2020/10～11	東京	5名	20名
		CxTE 講習（大阪）	2020/10～11	大阪	5名	20名
	c)	認証検討委員会及び資格判定委員会活動	2020/4～2021/3	BSCA 事務所他	10名	—
	d)	国際シンポジウム	2020/11	東京	10名	80名
	e)	Cx 事例シンポジウム・Cx 研究会	2020/12	京都	10名	80名
			2020/12	名古屋	10名	15名
	f)	Cx マニュアル（CD）の頒布	2020/4～2021/3	BSCA 事務所	3名	30名
g)	総会付帯講演会	2020/5/12	中止	—	—	
h)	技術交流会	2020/5/12	中止	—	—	
i)	Cx に関心を持つ者の集い	2020/9/17	福井県福井市	5名	40名	
(2) 性能検証普及事業	会誌・ホームページ等による性能検証普及事業				会員、市民、建築関係者、不特定	
	定期的に会誌やホームページによる広報を行い、最新情報を提供するため下記を実施する。					
	a)	ホームページの整備充実	2020/4～2021/3	事務局	4名	約1000名
	b)	コミッションングレターの発行	2020/4～2021/3	事務局	7名	—
	c)	空気調和・衛生工学会大会ブース出展	2020/9/16～9/18	福井大学	3名	約100名
d)	企画・運営委員会活動	2020/4～2021/3	BSCA 事務所他	23名	—	
(3) 調査研究・技術支援事業	性能検証に関する調査研究及び技術支援事業				会員、市民、建築関係者、不特定	
	実施マニュアルやツール等の整備を進め、同時に会員や一般市民への支援・広報を行う。公共的機関より性能検証、コミッションング過程に関する調査・研究業務を受託し、人材育成と基準文書整備に活用する。					
	a)	海外調査・国際交流	2020/4～2021/3	BSCA 事務所他	1名	同上
b)	技術委員会活動	2020/4～2021/3	東京	5名	建築関係者	

事業名	事業内容	実施月日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	
(4) 基準制定・検証事業	性能検証基準の制定及び性能検証事業				会員、市民、建築関係者、不特定	
	マニュアル類の更なる向上と普及とを目指して、会員や一般市民等のための性能検証を実施する。					
	a)	建築設備性能検証マニュアル改定WG	2020/4 ～2021/3	東京		16名
	b)	OCAT 熱源設備改修工事コミッショニング業務（調査・基本設計フェーズ）	2020/4 ～2021/3	大阪・OCAT ビル他		5名
	c)	田園都市線駒沢大学駅リニューアル工事（実施設計）に伴う空調設備コミッショニング業務	2020/4 ～2021/3	東京・東急事務所他		6名
d)	事業委員会活動	2020/4 ～2021/3	BSCA 事務所他	12名		
(5) 共催・協賛事業					会員、市民、建築関係者、不特定	
他団体への共催、後援、協賛事業によりコミッショニングの普及を目指す。		2020/4 ～2021/3				

3. 活動計画の概要

非営利活動に関する活動計画の概要を述べる。

(1) 人材育成事業

a) CxPE（性能検証技術者）資格研修会

CxPE（性能検証技術者）資格研修会は 2019 年度の開催を見送ったが、2020 年度については大阪での開催を検討することとする。

b) CxTE（性能検証専門技術者）講習（東京、大阪）

CxTE（性能検証専門技術者）講習会は、昨年・一昨年と東京・大阪以外の地方での開催を行ってきたが、今年度は東京・大阪での開催を検討する。また、講習内容に関しては、資格者の技術力育成を目的に、データ分析などの Cx の実務に直接つながる CxTE 講習の創設の検討を開始する。

c) 認証検討委員会及び資格判定委員会活動

CxPE（性能検証技術者）資格研修会が開催されることとなれば、資格判定委員会を実施する。

d) 国際シンポジウム(東京)

アジア太平洋地域における各国・各地域の Cx 技術と Cx 展開について情報を共有し、Cx の推進と普及を通じて社会に貢献することを目的に、「アジア太平洋 Cx 国際シンポジウム（東京）」を実施する。

e) Cx 事例シンポジウム(関西)・Cx 研究会(中部)

- ・ 関西では、当協会の Cx の受託プロジェクト、あるいは Cx 事業者が行った Cx プロジェクトの事例を紹介するシンポジウムを開催する。
- ・ 中部では、国土交通省より BIM 標準ガイドラインが発行され、BIM ワークフローとコミッションングの関係について考察する研究会を計画する。

f) Cx マニュアル (CD) の頒布

2016 年 11 月に発行した「建築設備コミッションングマニュアル」の販売を継続する。また原稿の校正を実施する。

g) 総会付帯行事を兼ねた講演会（2020 年 5 月）

東京大学 山上会館における通常総会後に講演会を企画したものの、新型コロナウイルスの感染拡大防止を鑑みて開催を中止することとなった。別途開催するシンポジウムでの講演を検討する。

h) 技術交流会

新型コロナウイルスの感染拡大防止を鑑みて開催を中止することとなった。

i) Cx に関心を持つ者の集い

空気調和・衛生工学会大会に合わせ「コミッションングに関心を持つ者の集い」を開催し、会員の技術交流と会員増強の一助とする。

(2) 性能検証普及事業

a) ホームページの整備拡充

一般閲覧者の増大を目指して、コンテンツの拡充並びにホームページ構成の変更検討を行う。また、一般閲覧者と会員との情報提供範囲を区分して、会員メリットが判りやすい仕組みを構築する。

b) コミッショニングレターの発行

コミッショニング関連の情報・動向を取材することに注力し、コミッショニングレターを月1回の発行を継続する。Web版レターの構成方法の変更（掲載可能画像数の増など）を検討する。

c) 空気調和・衛生工学会大会ブース出展

空気調和・衛生工学会大会の開催期間中に協会展示ブースを技術展示会場に出展し、広報活動を継続する。また、技術展示企業による発表会にて協会の活動内容を講演する。

d) 企画・運営委員会活動

1) 会員特典の整備

会員限定の情報提供（Cx文書事例、Cxツールなど）を検討する。

2) CxTE登録者の促進と CxFの登録の促進

Cx事業の事例発表のシンポジウムなどで CxF登録制度を広く紹介して登録を働きかけ賛助会員の増加を図る。

3) 各種団体へのコミッショニングの普及活動

- ・ CxF（コミッショニング事業者）が社会に定着することを目指し、各種団体にコミッショニング業務を実施する CxFの重要性を理解して貰うとともに、CxF登録社を増やす活動を行う。
- ・ 公共部門や民間の建築オーナーに、省エネルギー・省CO₂事業にコミッショニングプロセスが有効であることを説明し、省エネルギー・省CO₂事業の施策の策定や運用に対するアドバイスを積極的に行う。
- ・ 先導的コミッショニングに関する調査・研究事業の受託を目指す。
- ・ 国によるコミッショニングの政策課題に関連する調査に協力する。
- ・ 講習会やセミナーを企画して、コミッショニングの普及活動を実施する。
- ・ コミッショニング業務のビジネス展開を推進するため、経産省などと情報交換しながら業務のあり方・技術者の活用方法・技術者への報酬のあり方などについて、引き続き検討する。

(3) 調査研究・技術支援事業

a) 海外調査・国際交流

コミッショニングに関する国際会議への参加者や海外在住者による情報収集活動を支援する。

コミッショニングに関する国際会議（例えば、全米コミッショニング会議（NCBC）等）の開催案内や、それらの会議への参加者から報告をコミッショニングレターに掲載し会員へ情報提供する。海外のコミッショニング組織（NIST、BCA、HKBCxC(香港)、中国など）との連携活動を検討する。

国際エネルギー機関（IEA）の研究活動、IEA/EBC Annex81「Data-Driven Smart Building（データ駆動型スマートビルディング）」の日本委員会（委員長：東京大学・赤司泰義教授、当協会副

理事長)に、当協会から委員を派遣して情報交換を図る。

b) 技術委員会活動

- ・ 空気調和・衛生工学会のコミッショニング委員会に新たに設置される小委員会の技術課題に対して、協調・連携してコミッショニングの普及展開に必要な技術課題に取り組み、その成果をリソースとして整備し公開していく。
- ・ Cxに関する日中共同研究について、中国のカウンターパートと議論し、企画立案を進める。

(4) 基準の制定・検証事業

a) 建築設備性能検証マニュアル改定 WG

2016年度に発行した「建築設備コミッショニングマニュアル」の改訂を実施し、一般流通図書としての冊子販売を検討する。

b) OCAT ビル熱源・空調設備更新工事に伴うコミッショニング調査・基本設計フェーズ

- ・ 委託機関：(株) 湊町開発センター
- ・ 事業実施：2020年4月～2021年3月
- ・ 担当者：吉田治典 (CA)、松下直幹 (幹事)、柳原隆司、山本雄二、西山 満

OCATビルは1996年のJR難波駅地下化と同時に開業した交通結節点機能を有するビルであるが、将来を展望すると、2031年春にはうめきた(大阪)地下駅、新大阪駅に直結するなにわ筋線の開業が予定されており、ビルのポテンシャルは飛躍的に向上することが期待されている。その将来のポテンシャルを達成するうえで、地球環境・都市環境にも配慮したスマートなエネルギー利用が実現できる熱源設備に改修することは必須である。それを満たす設計がなされているかを確実に検証することを目的に、先導的事業としてコミッショニング業務を受託した。

c) 田園都市線駒沢大学駅空調設備更新に伴うコミッショニング (実施設計フェーズ)

- ・ 委託機関：東急電鉄 (株)
- ・ 事業実施：2020年4月～2021年3月
- ・ 担当者：吉田治典 (CA)、松下直幹 (幹事)、柳原隆司、山本雄二、西山 満、岡 敦郎

田園都市線駒沢大学駅リニューアル工事の基本計画を踏まえて、過年度の調査結果及び基本設計フェーズで作成した基本設計図書をもとに、竣工後に、OPRで求める性能を達成する実施設計が行われるようコミッショニングを適用する。また、施設保全業務の効率化と設備の省エネ運用を図るため、駒沢大学駅リニューアル工事の実実施設計と並行して、他駅も含めた複数駅の建築設備を一元的に管理する“建築設備全駅統括監視システム(仮称)”の企画設計を行う。この企画設計にもコミッショニングを適用し、OPRを作成する。田園都市線駒沢大学駅の実実施設計図書においては、この上位システムの仕様を反映するように設計する予定である。

f) 事業委員会活動

新たなコミッショニング関連業務の開発に努力する。

(5) 共催・協賛事業

他団体への共催、後援、協賛事業によりCxの普及を目指す。

4. 活動予算

様式例・記載例（法第28条第1項「前事業年度の計算書類（活動計算書）」）

2020年度活動予算書

建築設備コミッションング協会

2020年4月1日から2021年3月31日まで

（単位：円）

科目	2020年度予算案	2019年度予算		備考欄
	特定非営利活動	特定非営利活動事業	増減額	
I 経常収益				
1 受取会費				
入会金収入	50,000	100,000	-50,000	
正会員受取会費	2,200,000	2,150,000	50,000	
賛助会員受取会費	5,800,000	6,000,000	-200,000	
小計	8,050,000	8,250,000	-200,000	
2 受取寄附金				
受取寄附金	0	0	0	
小計	0	0	0	
3 受取助成金等				
受取民間助成金	0	0	0	
小計	0	0	0	
4 事業収益				
1. 人材育成事業		0		
CxPE研修会	560,000	0	560,000	
CxTE講習会(東京)	365,000	365,000	0	
CxTE講習会(名古屋)	0	364,000	-364,000	
CxTE講習会(大阪)	377,000	377,000	0	
Cx事例シンポジウム(東京)	0	380,000	-380,000	
Cx事例シンポジウム(関西)	600,000	0	600,000	
国際Cxシンポジウム(京都)	0	2,055,000	-2,055,000	
アジア太平洋Cxシンポ(東京)	2,215,000	0	2,215,000	
Cx事例研究会(中部)	10,000	120,000	-110,000	
マニュアルの頒布	200,000	200,000	0	
技術交流会	150,000	150,000	0	
Cx 集い	200,000	200,000	0	
小計	4,677,000	4,211,000	466,000	
2. 普及事業	0	0	0	
3. 研究・支援事業	0	0	0	
技術委員会	65,000	65,000	0	
小計	65,000	65,000	0	
4. 基準制定事業				
京都駅ビルCx				
機能性能フェーズⅡ	0	11,283,000	-11,283,000	
空調二次側基本設計	0	3,174,000	-3,174,000	
電気設備改修企画フェーズ	0	7,223,000	-7,223,000	
東急電鉄Cx	10,109,000	4,990,000	5,119,000	
OCAT	8,638,344	0	8,638,344	
小計	18,747,344	26,670,000	-7,922,656	
5. その他				
小計	0	0	0	
計	23,489,344	30,946,000	-7,456,656	
5 その他収益				
受取利息	1,000	1,000	0	
雑収益	10,000	10,000	0	
小計	11,000	11,000	0	
経常収益計	31,550,344	39,207,000	-7,656,656	

科目	2020年度予算案	2019年度予算		備考欄
	特定非営利活動	特定非営利活動事業	増減額	
II 経常費用				
1 事業費				
1. 人材育成事業				
CxPE研修会	1,485,500	1,200,000	285,500	
CxTE講習会(東日本)	270,000	275,000	-5,000	
CxTE講習会(名古屋)	0	264,000	-264,000	
CxTE講習会(西日本)	325,000	295,000	30,000	
Cx事例シンポジウム(東京)	0	295,000	-295,000	
Cx事例シンポジウム(関西)	510,000	0	510,000	
国際Cxシンポジウム(京都)	0	2,015,000	-2,015,000	
アジア太平洋Cxシンポ(東京)	1,465,600	0	1,465,600	
日中Cx共同研究	200,000	0	200,000	
Cx研究会(中部)	10,000	76,000	-66,000	
マニュアルの頒布	30,000	30,000	0	
総会付帯講演会	60,000	60,000	0	
技術交流会	230,000	230,000	0	
Cx 集い	200,000	200,000	0	
認証判定委員会	200,000	0	200,000	
小計	4,986,100	4,940,000	46,100	
2. 普及事業				
ホームページ	1,300,000	1,300,000	0	
コミショニングレターの発行	120,000	200,000	-80,000	
空気調和・衛生工学会大会ブース出展	180,000	180,000	0	
CxF登録制度小委員会	100,000	100,000	0	
企画・運営委員会及び広報担当	260,000	360,000	-100,000	
小計	1,960,000	2,140,000	-180,000	
3. 研究・支援事業				
海外調査	200,000	1,905,000	-1,705,000	
技術委員会	400,000	400,000	0	
小計	600,000	2,305,000	-1,705,000	
4. 基準制定事業				
京都駅ビルCx				
機能性能フェーズⅡ	0	9,591,000	-9,591,000	
空調二次側基本設計	0	2,698,000	-2,698,000	
電気設備改修企画フェーズ	0	6,140,000	-6,140,000	
東急電鉄Cx事業	8,592,650	4,120,115	4,472,535	
OCAT	7,342,592	0	7,342,592	
事業委員会	50,000	50,000	0	
Cx費用ガイドライン検討WG	500,000	1,000,000	-500,000	
マニュアル校正	800,000	800,000	0	
小計	17,285,242	24,399,115	-7,113,873	
5. その他	100,000	100,000	0	
事業費計	24,931,342	33,884,115	-8,952,773	

科目	2020年度予算案	2019年度予算		備考欄
	特定非営利活動	特定非営利活動事業	増減額	
2 管理費				
旅費交通費	500,000	500,000	0	
通信運搬費	250,000	200,000	50,000	
消耗品費	300,000	260,000	40,000	
什器備品	200,000	200,000	0	
会議費	450,000	254,500	195,500	
印刷製本費	100,000	100,000	0	
租税公課	700,000	440,000	260,000	
支払手数料	57,830	70,000	-12,170	
雑給	0	5,000	-5,000	
諸会費	100,000	200,000	-100,000	
家賃	402,600	400,000	2,600	
修繕費	0	0	0	
予備費	0	0	0	
支払報酬	420,000	420,000	0	
事務外注費	4,147,000	3,888,000	259,000	
事務管理費	300,000	300,000	0	
減価償却費	160,000	505,000	-345,000	
管理費計	8,087,430	7,742,500	344,930	
經常費用計	33,018,772	41,626,615	-8,607,843	
I, II 当期經常増減額	-1,468,428	-2,419,615	951,187	
III 經常外収益				
1 固定資産売却益	0	0	0	
經常外収益計	0	0	0	
IV 經常外費用				
1 過年度損益修正損	0	0	0	
經常外費用計	0	0	0	
III, IV 当期經常外増減額	0	0	0	
税引前当期正味財産増減額	-1,468,428	-2,419,615		
法人税、住民税及び事業税	71,000	351,000		
当期正味財産増減額	-1,539,428	-2,770,615		
前期繰越正味財産額	50,956,076	56,928,633		
次期繰越正味財産額	49,416,648	54,158,018		

第3号議案「役員の改選に関する事項」

1. 理事再任に関する事項

再任理事 赤司泰義君
再任理事 伊藤英明君
再任理事 大石晶彦君
再任理事 上谷勝洋君
再任理事 澤地孝男君
再任理事 田井公浩君
再任理事 松下直幹君
再任理事 柳原隆司君
再任理事 吉田治典君

以上、9名

再任の理由 今期にて任期満了し、引き続き次期の理事に再任する。

2. 理事の新任に関する事項

新任理事 小林陽一君
新任理事 田上賢一君
新任理事 西山 満 君

以上、3名

推薦の理由 特定非営利活動法人建築設備コミッションング協会理事会よりの推薦

小林 陽一君の略歴

1961年生

現職 (株)安井建築設計事務所 大阪事務所 環境・設備部長

経歴 1985年～現在 (株)安井建築設計事務所 建築設備設計

資格 設備設計一級建築士、建築設備士、技術士(衛生工学部門)、CxPE

田上 賢一君の略歴

1963年生

現職 新菱冷熱工業(株)名古屋支社 設計部長

経歴 1986年～1999年 新菱冷熱工業(株)名古屋支社設計部 設計・積算業務

1999年～2011年 新菱冷熱工業(株)本社第二工事事業部 施工・技術管理業務

2011年～現在 新菱冷熱工業(株)名古屋支社設計部 企画・設計・積算管理業務

資格 建築設備士、技術士(衛生工学部門)、エネルギー管理士(熱)、CxPE

西山 満 君の略歴

1956年生

現職 日建設計コンストラクション・マネジメント株式会社

エンジニアリングマネジメントグループ コンストラクション・マネジャー

経歴 1976～2015年(株)大気社 施工管理・設備設計・施工監理・品質管理業務

2015～2017年(株)日本生命保険相互会社 建物改修の監理業務

2018～現在日建設計コンストラクション・マネジメント(株) 建物の新築・改修のCM業務

資格 設備設計一級建築士、技術士(衛生工学部門)、博士(工学)、CxPE

3. 監事再任に関する事項

再任監事 高橋直樹君

以上、1名

再任の理由 今期にて任期満了し、引き続き次期の監事に再任する。

4. 監事の新任に関する事項

新任監事 高瀬知章君

以上、1名

高瀬 知章君の略歴

1955年生

現職 株式会社安藤・間

建設本部 建築技術統括部 ZEB 推進室担当

経歴 1981～2001年 三菱地所(株) 建築設備の設計監理業務

2001～2017年 (株)三菱地所設計 建築設備の設計監理業務

2017～2018年 エム・ユー・トラスト総合管理(株) 建物管理業務

2018～現在 株式会社安藤・間 設備設計・技術開発業務

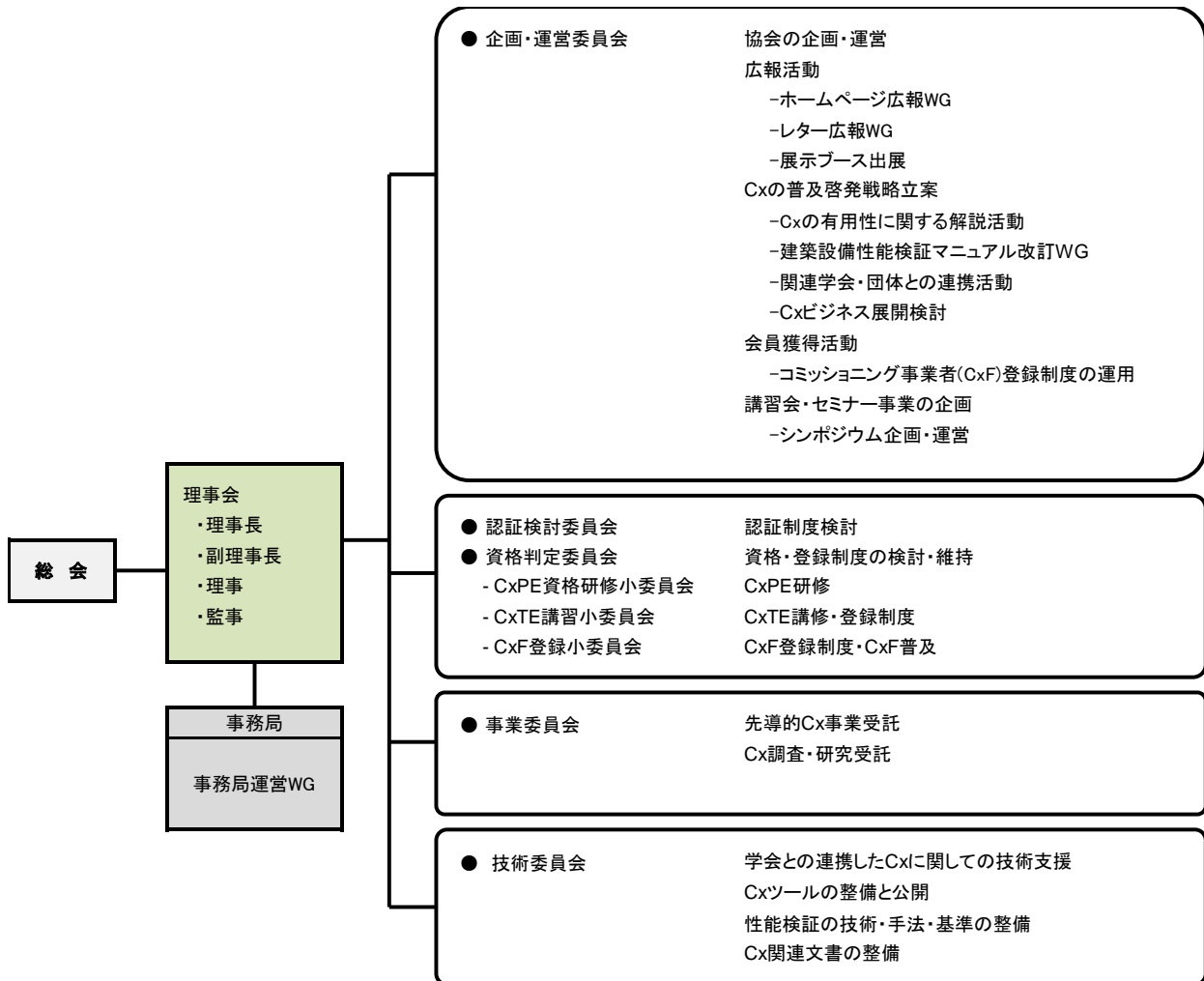
資格 設備設計一級建築士、建築設備士、技術士(衛生工学部門)、CxPE

【3】報告事項

特になし。

参考

[組織図]



BSGA 特定非営利活動法人
建築設備コミッショニング協会
Building Services Commissioning Association

〒559-0034

大阪市住之江区南港北 2-1-10ATC/ITM 棟 11 階
Tel: 06-6614-0880 Fax: 06-6616-7098

URL: <http://www.bsca.or.jp/>